

こたえ ツバメのす

きそ
基礎 ①

ツバメのす

春になると、ツバメが南の国からやってきます。そして、人の家ののき下などに、すを作ります。

すのざいりようは、どろとかれ草です。ツバメは、田んぼなどからどろとかれ草を口にくわえてはこび、だえきでかためて、おわんのような形のすを作ります。

ツバメが人の家にすを作るのは、カラスやヘビなどのてきが、人のいるところには近づきにくいからです。

すの中では、ひなが大きな口をあけて、親が虫をはこんでくるのをまっています。

1 ツバメは、どこからやってきますか。

南
の国

2 すのざいりようは、どろと何ですか。

どろと
かれ草

3 すは、どんな形をしていますか。

ア 三角の形

ウ イ おわんのような形
ボールのような形

4 ツバメが人の家にすを作るのは、どうしてですか。

ア 人に、えさをもらえるから。

ウ イ てきが、人のいるところには近づきにくいから。
雨にぬれないから。

おうちの方へ

- 家の近くでツバメのすを見つけたら、ひなに親が虫をはこぶようすを、そっと観察してみましょう。